

DIGEST 平成28年 12月定例会の結果

議員数=22名 表決参加議員数=21名 ※議長は表決には加わりません。

＜11月28日～12月20日/会期23日間＞ 12月定例会には市長提出議案27件が提出されました。
また、陳情4件についても審議しました。(陳情は採決しません。)

議案第73号 三田市農業委員会委員等定数条例の制定について

農業委員会等に関する法律改正に伴い、農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数等を定めるにあたり、当該条例を制定しようとするもの

議案第75号 三田市市税条例等の一部を改正する条例の制定について

軽自動車税に係るグリーン化特例の適用期限を1年間延長するなどの地方税法等の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行なうもの



反対 可決に 賛成

【日本共産党三田市議団】
長谷川、長尾、國永

【新政みらい】厚地、田中、北本、佐貴、中田
【盟政会】今北、福田、森本、幸田、白井
【公明党】松岡、大西
【市民の会】檜田、美藤、佐々木
【日本維新の会三田市議会議員団】多宮、小山
【無党派】小杉

議案第73号反対討論

農業委員会は「市町村長から指揮・監督を受けることはない」執行機関であったのが、法改正により市町村長の任命になることで、独立性がなくなり、これまで果たしてきた重要な役割が果たせなくなる。また、「農家の声」をまとめて行政に反映させる農業委員会の「建議」が外されたことで、農業者の意見、声を行政に提案していくことができなくなるので反対。

議案第75号反対討論

この条例の中の個人市民税医療費控除の特例の新設は、スイッチOTC(Over The Counter)医薬品の購入費を控除対象とする条例であり、これまで処方箋がなければ購入できなかった薬が自己判断で使用できるようになり、必要な受診の遅れや副作用、症状悪化につながる恐れがあると、医師も警告している。

また、医療費控除と併用はできないため、必ずしも、税制面の負担軽減ができるわけではないので反対。

(日本共産党三田市議団 長谷川議員)



*建議：市など行政に意見を申し立てること。

*スイッチOTC医薬品：これまで医師の判断でしか使用できなかった医薬品を薬局で買えるようにしたもの。OTCとは「Over The Counter」の略で町の薬局のカウンター越しに売られる薬という意味

議案第73号賛成討論

形骸化している選挙による選出から、実質的に機能する適切な人物を透明なプロセスを経て確実に就任するために、これまでの選挙制度・推薦制度を廃止し、市長の選任に一元化するものである。また、本市における従前からの農業委員配置の経過や本市農業を取り巻く状況、また、既に先行して委員配置がなされた全国各市町村の実績等々から総合的に判断して、妥当なものであるため賛成。

議案第75号賛成討論

自主服薬は、自己判断、自己責任ということになるが、従来は医師の処方箋によらなければ使用できなかった指定医薬品の中から一般用医薬品として認可、市販されている医薬品であり、正しい服用方法を守りさえすれば危険性は極めて少ないと思われる。今回の特例が現在の医療費控除との選択制になり、所得控除の選択肢は増えることから、市民にとっては有利な改正であるため賛成。

(新政みらい 北本議員)

全議員が賛成した議案等(可決、同意)

予算 平成28年度三田市一般会計補正予算(第3号)など 予算案件2件

条例 三田市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定についてなど 条例案件12件

その他 三田市淡路風車の丘の管理に係る指定管理者の指定についてなど 事件決議7件 人事案件1件

議案内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議結果」をご覧ください。

議案第78号 三田市手数料条例及び三田市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

個人番号カードを用いた住民票、印鑑登録証明書その他証明書のコンビニ交付を実施するにあたり、当該関係条例の一部を改正しようとするもの



反対 可決に 賛成

【日本共産党三田市議団】
長谷川、長尾、國永

【新政みらい】厚地、田中、北本、佐貴、中田
【公明党】松岡、大西
【市民の会】檜田、美藤、佐々木
【日本維新の会三田市議会議員団】多宮、小山
【無党派】小杉

棄権 【盟政会】
今北、福田、森本、幸田、白井

議案78号反対討論

これまでもセキュリティの問題などから、制度そのものに反対をしているが、システムにおいては現在も不具合などが多発しており、安定稼働している状況ではなく、問題が多い。

また、証明書などのコンビニ交付開始に伴い、現行の自動交付機を撤去していくことは、コンビニを利用しない人、コンビニが撤退した場合の不便さを考慮しておらず、一方だけを見て「市民の利便性が向上する」という訳にはいかない。

カードを持たないことへの不便な状況を作り出し、カード所持への道筋をなかば強制的に行政が作り出していくことはあってはならないと考える。市民の個人情報預かる市が、率先してリスクを増大させる環境を作るべきではないので反対。

(日本共産党三田市議団 長尾議員)

議案第78号賛成討論

本年1月にマイナンバーカードの交付が始まり、来年7月からは国・地方公共団体における情報連携やマイナポータルの本格運用が予定されており、自宅のパソコンで行政機関からのお知らせを確認することや、子育てに関する様々な手続きができるようになる。

それらのサービスを利用するためには、コンビニ交付サービスを利用する際に必要となるICチップの付いたマイナンバーカードが必要となるため、コンビニでの証明書発行手数料を減額することで少しでも早期にカードを普及させ、その利便性を一人でも多くの市民が享受できるものであり賛成。

(新政みらい 北本議員)



*マイナポータル：行政機関が自分の情報をいつでもどこでも取り戻したか又、行政機関からのお知らせ情報などを自宅のパソコンで確認できるシステム

議案第78号の審査について

12月1日に生活地域振興常任委員会(以下「委員会」)で審議を行い、その日の表決で否決されました。しかし、15日「市民サービスに与える影響が大き」と委員長が再度委員会を招集し、動議があり再審査を行ったところ、可否同数で委員長裁決により可決となりました。

また、本会議審査では、委員長報告への質疑や動議の声がありました。

- 再審査とは
一度議決した案件を再審査することができない「一時不再議」の原則があります。しかし、案件をめぐる環境が大きく変わった場合等には再審査することができます。
- 動議とは
会議中に出席者から予定している議案以外の議題を出すこと。また、その議題のことを指します。今議会では、委員会再審査を求める動議、本会議では委員長報告への質疑に対する論点整理や、答弁内容を確認するためそれぞれ休憩を求める動議がありました。

議案第94号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第95号 平成28年度三田市一般会計補正予算(第4号)

反対 可決に 賛成



【日本維新の会三田市議会議員団】多宮、小山

【新政みらい】厚地、田中、北本、佐貴、中田
【盟政会】今北、福田、森本、幸田、白井
【日本共産党三田市議団】長谷川、國永、長尾
【公明党】松岡、大西
【市民の会】檜田、美藤、佐々木
【無党派】小杉

反対討論

今回の予算編成においては、一般財源の9%削減に向け、各担当課は日々努力されているが、人事院勧告に関しては三田市の現状に即しているかという疑問もあり、全国的に高い給付水準にある中、今後の三田市独自の給与構造改革を求めるため反対。(日本維新の会三田市議会議員団 多宮議員)